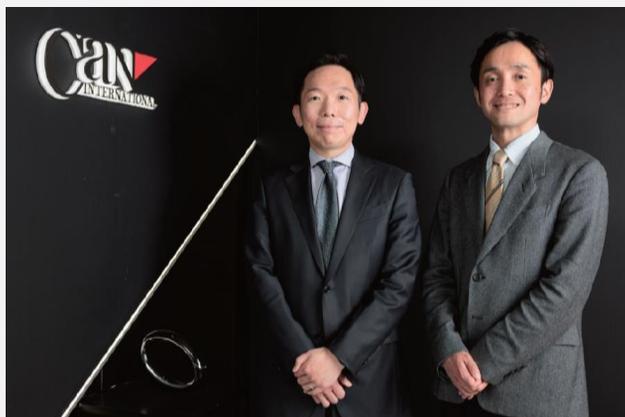


ビジネスエンジニアリング(株)が 弊社の「GLASIAOUS」 活用事例を公開しました！



弊社は、日本とタイで共通のクラウド型国際会計サービス「GLASIAOUS」を導入しており、開発元のビジネスエンジニアリング株式会社がその活用事例を公開しました。

弊社の日本オフィスでは、会計事務所の買収に伴い、複数の異なる会計システム及び業務フローが存在しており、業務が属人化していました。また、タイオフィスでは、従来使用していた会計システムは遠隔で利用することができず、言語や機能の面からも使い勝手が悪い、といった課題を抱えていました。

「GLASIAOUS」を導入することによって、会計業務の標準化を進め、場所を問わずに利用できるクラウドの特性を活かした業務効率化や、会計システムの機能を利用した現地税制への対応を達成しました。また、グローバルビジネスを展開する顧客の会計基盤として「GLASIAOUS」を利用することによって会計サービスの品質向上を実現しています。

[記事はこちら](#)

最新の各国動向

フィリピン、タイの経済回復に影 今年の成長率予想は下方修正に

日本経済研究センターによるアジア・コンセンサス調査(2022年4月4日付)によると、東南アジア主要5カ国の2022年の実質成長率の予想平均は4.9%となっており、2021年12月の同調査から0.2%低下しています。

特に、フィリピン、タイの減速が大きく、ウクライナ情勢の影響による天然資源や食品価格の上昇による個人消費の鈍化が見込まれることから、前回の調査結果を下回る結果となっています。またインフレに加え、中国でのコロナウイルス感染対策の一環である都市封鎖による景気減速や、供給網の混乱による影響も懸念されています。

マレーシア、インドネシア、シンガポール、また同時に調査されたインドは前回と同水準もしくはそれを上回る水準ですが、同様の不安要素を抱えており、これらの国においても成長率(予想)が下振れする可能性があります。

東南アジアとインドの実質成長率				(前年比、%)
国名	21年	22年	23年	24年
東南アジア主要5カ国	4.0	4.9(5.1)	4.9(4.9)	4.7
フィリピン	5.6	6.3(7.1)	5.7(5.9)	5.7
マレーシア	3.1	6.1(6.0)	4.9(5.0)	5.2
インドネシア	3.7	5.0(5.0)	5.3(5.1)	5.2
シンガポール	7.6	4.6(4.3)	3.6(3.6)	3.3
タイ	1.6	3.1(3.7)	4.4(4.7)	3.7
インド	8.9	7.8(7.3)	6.3(6.1)	6.5

(出所)アジア・コンセンサス調査結果をCaNが一部加工。数字は回答者の平均予測値、カッコ内は21年12月調査結果の平均予測値。東南アジア主要5カ国は加重平均。